



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社キューブ 上場取引所 東
 コード番号 7112 URL <http://www.cube-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 松村 智明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 福岡 裕太 (TEL) 03-6427-0791
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の業績 (2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,403	—	174	—	175	—	116	—
2022年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	19.18	19.14
2022年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2022年12月期第1四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,605	3,786	82.2
2022年12月期	4,619	3,670	79.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 3,786百万円 2022年12月期 3,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,954	7.1	957	5.5	950	5.8	659	8.1	108.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 1 Q	6,074,000株	2022年12月期	6,074,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2023年12月期 1 Q	一株	2022年12月期	一株
---------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期 1 Q	6,074,000株	2022年12月期 1 Q	一株
---------------	------------	---------------	----

(注) 2022年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる各種行動制限の緩和に伴い、緩やかながら景気は回復の傾向がみられ、経済社会活動が正常化に向かう一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う原材料価格等の高止まりに加え、不安定な為替変動の影響等から世界情勢の先行きが見通せない状況が続いております。

当社の属する衣料品販売業界においても、原材料費、物流費、電力料の高騰等、厳しい経営環境が続いており、訪日外国人観光客数の回復によるインバウンド消費への期待感が高まりつつあるものの、収入不安による節約志向の高まりから慎重な購買行動が続いている状況にあります。

このような環境の中、当社はオンライン・オフラインの双方から、国内外における販売強化に努めてまいりました。

これらの結果として、当第1四半期累計期間における売上高は1,403,910千円となり、営業利益は174,945千円、経常利益は175,222千円、四半期純利益は116,488千円となりました。

なお、当社は衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

特に重要な指標の内容は以下のとおりであります。

(売上高)

当第1四半期累計期間の売上高は、売上高は1,403,910千円となりました。前事業年度に引き続き、デジタル化の推進と海外展開に向けて、オフライン・オンラインの販売チャネルの融合、新規店舗の出店も含めた集客・販売力の強化を図り、国内リテール、国内EC及び海外ECにおいて売上の拡大に努めております。また、韓国卸、海外卸、及び国内卸の各卸においても、特に海外卸における新規取引先の獲得等を進め、売上の拡大を図っております。

当第1四半期累計期間の事業区分別の内訳は、次のとおりであります。

相手先	第30期事業年度 第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
国内リテール	319,746	22.8
国内EC	244,596	17.4
海外EC	27,927	2.0
韓国卸	658,101	46.9
海外卸	28,489	2.0
国内卸	121,583	8.7
その他	3,464	0.2

(売上総利益及び営業利益)

当第1四半期累計期間の売上原価は、679,925千円となりました。原価目標を設定した売上原価率の低減を徹底した結果、当第1四半期累計期間は売上原価率48.4%となっております。この結果、当第1四半期累計期間の売上総利益は723,985千円となり、売上総利益率は51.6%となっております。また、当第1四半期累計期間の

販売費及び一般管理費は、549,039千円となり、業容拡大に向けたマーケティング、商品企画力の強化目的で人材採用を強化した結果として業務委託費用、給料手当、デジタル化の推進に向けて広告投資やタレント、プロゴルファーの起用による魅力あるコンテンツ制作への投資を増加させた結果として広告宣伝費、新規店舗の新店や人員増加に伴い地代家賃が増加傾向にあります。この結果、当第1四半期累計期間の営業利益は174,945千円となりました。

また、上記指標の計画達成に向けて、事業運営上重要と考えている重要指標として、今後の事業拡大の主たる部分について、海外売上高及びEC売上高の増加を想定していることから、海外売上高比率とEC化率の上昇に取り組んでおりますが、当第1四半期累計期間の状況は以下のとおりであります。

	第30期事業年度 第1四半期累計期間
海外売上高比率(%)	50.9
EC化率(%)	19.4

- (注) 1. 海外売上高比率 = (海外EC売上高 + 韓国卸売上高 + 海外卸売上高) ÷ 売上高
2. EC化率 = (国内EC売上高 + 海外EC売上高) ÷ 売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は4,605,152千円となり、前事業年度末に比べ13,927千円(0.3%)減少いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ124,891千円(3.1%)減少し、3,954,231千円となりました。これは主に、前事業年度末の未払法人税等の支払や決算月における商品仕入に係る支払が増加していることにより、現金及び預金が610,841千円(18.7%)減少したものの、商品仕入が増加したことに伴い、商品が252,135千円(83.0%)増加し、主に決算月における売上金額が増加したことに伴い、売掛金が201,226千円(56.9%)増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ110,963千円(20.6%)増加し、650,920千円となりました。これは主に、2023年4月に新店舗の開店を控え、建設仮勘定が104,203千円(前事業年度末計上なし)増加したこと、敷金及び保証金が29,363千円(15.5%)増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、818,201千円となり、前事業年度末に比べ130,416千円(13.7%)減少いたしました。

流動負債の残高は、前事業年度末に比べ131,822千円(15.0%)減少し、748,903千円となりました。これは主に、前事業年度末に比べて決算月における仕入が増加したことに伴い買掛金が306,627千円(472.9%)増加したものの、前事業年度末に計上した未払法人税等の支払により未払法人税等が262,654千円(84.2%)減少、韓国総代理店向けのリベートの支払等によりその他に含まれる未払金が183,544千円(53.7%)減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べ1,405千円(2.1%)増加し、69,297千円となりました。これは主に、従業員の勤務期間の経過に伴い、退職給付引当金が1,386千円(39.6%)増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、3,786,950千円となり、前事業年度末に比べ116,488千円(3.2%)増加いたしました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は、82.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月14日に「2022年12月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,263,159	2,652,317
受取手形及び売掛金	353,833	555,060
商品	303,677	555,812
その他	158,613	191,294
貸倒引当金	△161	△253
流動資産合計	4,079,122	3,954,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	121,456	115,842
工具、器具及び備品(純額)	8,728	8,281
建設仮勘定	—	104,203
有形固定資産合計	130,184	228,327
無形固定資産		
ソフトウェア	13,238	11,765
無形固定資産合計	13,238	11,765
投資その他の資産		
敷金及び保証金	189,291	218,654
繰延税金資産	95,970	79,425
その他	111,272	112,748
投資その他の資産合計	396,534	410,828
固定資産合計	539,957	650,920
資産合計	4,619,080	4,605,152

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,844	371,471
契約負債	94,836	116,278
未払法人税等	311,980	49,326
賞与引当金	—	10,504
資産除去債務	1,312	1,000
その他	407,753	200,322
流動負債合計	880,726	748,903
固定負債		
退職給付引当金	3,500	4,886
資産除去債務	58,046	58,065
その他	6,345	6,345
固定負債合計	67,892	69,297
負債合計	948,618	818,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,549	822,549
資本剰余金	1,542,876	1,542,876
利益剰余金	1,305,035	1,421,524
株主資本合計	3,670,461	3,786,950
純資産合計	3,670,461	3,786,950
負債純資産合計	4,619,080	4,605,152

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	1,403,910
売上原価	679,925
売上総利益	723,985
販売費及び一般管理費	549,039
営業利益	174,945
営業外収益	
受取利息	12
雑収入	317
営業外収益合計	329
営業外費用	
為替差損	52
営業外費用合計	52
経常利益	175,222
税引前四半期純利益	175,222
法人税、住民税及び事業税	42,188
法人税等調整額	16,545
法人税等合計	58,734
四半期純利益	116,488

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これによる、四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。